

2019年2月4日
一般社団法人 日本船主協会

「環境セミナー」の開催について

当協会は、例年、海上安全や環境を巡る諸課題に関して情報の提供や問題意識の共有を目的としたセミナーを開催しております。今年度は下記のとおり環境をテーマにしたセミナーを開催いたしますので、ご案内申し上げます。

記

- 日 時： 2019年3月6日（水）14：30～17：00
場 所： 海運クラブ 2階ホール（海運ビル）
講 演： 1. 「海運セクターにとっての環境問題と競争力」
 足達 英一郎 氏 日本総合研究所 理事
 2. 「SOx 規制に関する国際動向」
 森本 清二郎 氏 日本海事センター 主任研究員
※ 講演終了後、カクテルパーティー（懇親会）を開催予定
費 用： 無料
申込み： プログラムご参照の上、必要事項を e-mail (mar-div@jsanet.or.jp) にて
 送信、もしくは参加申込書に記入し FAX にて事務局までご連絡下さい。
 定員（120名）に達し次第、受付を終了させていただきます。

以上

日本船主協会 環境セミナー

日時：2019年3月6日（水）14時30分～17時00分

場所：海運クラブ 2階ホール（海運ビル）

東京都千代田区平河町2-6-4（東京メトロ「永田町駅」4番/5番出口徒歩1分）

定員120名 ※定員に達し次第、受付を終了します（先着順）
お申込みは裏面をご参照ください

参加費無料

<プログラム>

14:30	開会・主催者挨拶（日本船主協会副会長・環境委員長 稲葉 慎司）
14:35~15:55	<p>「海運セクターにとっての環境問題と競争力」</p> <p><講演要旨> 近年の海運業界における環境規制（SOx、バラスト水、GHG、シップリサイクル等）の進展を概観し、「海洋の持続可能性」に大きな関心が向けられている現在の特徴として、機関投資家も声を上げている点を紹介する。そのうえで海外と日本の「変化に対する姿勢」の差異を考察し、「全容の異なる世界」を構想する人々とそこから生まれるビジネスの思考や今後、国際海運で注目される新たなルール制定の動向について説明する。そして、世の中は社会課題解決の方向に全て向かっているのか？との疑問に答える。</p>
	 <p>足達英一郎氏 （日本総合研究所）</p>
15:55~16:00	休憩
16:00~17:00	<p>「SOx 規制に関する国際動向」</p> <p><講演要旨> 国際海事機関（IMO）では、船用燃料油の硫黄分規制（SOx 規制）を2020年に強化し、規制値を3.5%から0.5%に引き下げることが決定されている。本規制への対応方法としては、規制適合油（低硫黄燃料油）の使用、排ガス洗浄装置（スクラバー）の使用、代替燃料（LNG 燃料等）の使用が想定されるが、いずれも外航海運業界を含む関係業界に大きなインパクトをもたらすと考えられている。本講演では、2020年の規制強化に向けた国際的な対応動向、予想される影響や課題について紹介する。</p>
	 <p>森本清二郎氏 （日本海事センター）</p>
17:00	閉会（講演終了後、カクテルパーティー（懇親会）を開催）

一般社団法人日本船主協会は、当協会のあらゆる活動においてわが国独占禁止法及び関係法令並びに諸外国の競争法令（以下「競争法」という）を十分に尊重しこれを遵守するとともに、当協会の全ての会議が競争法に照らして、問題または疑念を惹起させることのないよう努めます

<講師ご紹介>

足達英一郎 氏 日本総合研究所 理事

1962年、東京生まれ。1986年、一橋大学経済学部卒業。同年、株式会社三菱総合研究所入社。1990年、株式会社日本総合研究所入社。経営戦略研究部、技術研究部を経て、現職。現在、同社 ESG リサーチセンターにおける、企業の社会的責任の観点からの産業調査、企業評価の業務を統括。

2003～2004年には、社団法人経済同友会の第15回企業白書の発行に携わる。その後、同社会的責任経営推進委員会ワーキング・グループメンバー。また、2005年03月～2009年05月には、ISO26000作業部会日本エキスパートとして「組織の社会的責任に関する国際規格 ISO26000」の策定に携わる。

現在、三菱商事株式会社サステナビリティ・アドバイザー・コミッティーメンバー、公益財団法人三菱商事復興支援財団理事、一般財団法人地域公共交通総合研究所アドバイザー・ボード委員も務める。

「ビジネスパーソンのためのSDGsの教科書」(2018年、日経BP社)など著書・共著書多数。2008年10月から日経産業新聞「Eの新話(現在はEarth新潮流)」欄に月次で寄稿連載。

森本清二郎 氏 日本海事センター 主任研究員

1976年、静岡生まれ。2000年、早稲田大学政治経済学部卒業。2007年、同大院政治学研究科博士後期課程退学(国際法専攻)。同年4月より、日本海事センター企画研究部において国際海運の環境規制(GHG、SOx)、競争政策、海賊問題などの調査研究に従事。

2005年4月から2007年3月まで流通経済大学非常勤講師(国際公法)、2012年から2018年まで日本船舶技術研究協会の「GHG削減基準プロジェクト」委員、現在は国土交通省海事局と日本船舶技術研究協会の「国際海運GHGゼロエミッション」プロジェクト委員を務める。2008年6月から国際海事機関(IMO)海洋環境保護委員会(MEPC)関係会合に日本代表団メンバーとして参加。

日本海事新聞「海事ウォッチャー」欄に「SOx規制に関する国際動向」「GHG削減に向けた船用代替燃料の検討動向」などのテーマで寄稿。

参加申し込み方法

下の参加申込書に記入しFAX、または、下記事項をE-mailにてご連絡ください
締め切り：2月28日(木) ※定員に達し次第、受付を終了します(先着順)

貴社名	
ご所属・お役職	
ご芳名	
Eメールアドレス	
TEL	

<申込・問合せ先>日本船主協会 海務部(担当:長嶋)

Tel: 03-3264-7177 Fax: 03-5226-9166 e-mail: mar-div@jsanet.or.jp

参加決定などのお知らせは致しませんが、定員を超え参加いただけない場合にこちらから連絡させていただきます。